

| 2026年度 一般社団法人 高岡青年会議所 | |
|-----------------------|--|
| 総務財務委員会 | |
| 委員長 金森 弘樹 | |
| 設置背景 | <p>(現状) 会議の運営や記録は行われていますが、情報共有の方法や連携の仕組みが十分ではなく、組織全体として一体感が十分に感じられない現状があります。</p> <p>(課題) 信頼と調和のとれた組織体制を築き、メンバーが安心して挑戦できる環境を整えることが必要です。</p> <p>(あるべき姿) 互いを信頼し、支え合いながら、誰もが主体的に行動できる組織となることが必要不可欠です。</p> |
| 設置目的 | 組織全体が効率的かつ円滑に機能することを目的とします。 |
| 運動計画 | <p>1.組織の円滑運営と会員活動環境の整備(年間) メンバー全員が安心して事業に挑戦できる環境づくりにつなげるために、各委員会・事業間で情報を共有し、必要な資料や環境を整備することで、総務面・財務面の両面から活動を支えます。</p> <p>2.各種事業の審査(財務規則審査会議) 透明性の高い財務管理と事業成果の向上につなげるために、事業の計画段階から収支の妥当性を確認し、事業終了後には結果を振り返り改善点を整理します。</p> <p>3.新年祝賀会の実施(1月) より多くのステークホルダーに共感を得る機会とするために、これまで築かれてきた歴史を振り返り、先達の想いを受け継ぐことで、新たな年の幕開けを祝い、本年度の運動方針を発信します。</p> <p>4.例会の実施(7月) 組織全体が同じ方向に進むための基盤を共有するために、仲間と支え合いながら活動できる環境を共有することで、組織の一体感を醸成する例会とします。</p> |
| その他 | <p>■会員の活動しやすい環境整備(年間)</p> <p>■LOM一丸となった会員拡大</p> <p>■まちのビジョンに基づいた事業の実施</p> <p>■ブロック全体会議(2月)、ブロック卒業式(11月)</p> <p>■全国城下町シンポジウム唐津大会の参加促進(7月)</p> <p>■日本JC・北陸信越地区協議会・富山ブロック協議会への協力並びに出向者支援</p> <p>■年間事業報告会の実施(12月)</p> |
| パートナー | <p>1.)(公社)日本青年会議所</p> <p>2.)(公社)日本青年会議所北信越地区協議会</p> <p>3.)(公社)日本青年会議所北信越地区富山ブロック協議会</p> <p>4.高岡青年会議所シニアクラブ</p> |
| 参考資料 | 青年活動意欲調査 |